

企業立地に係る経済波及効果シミュレーションツール

企業立地の計画段階において、産業や企業規模が不明確な場合でも 県内への平均的な経済波及効果をシミュレーションできるツールです。

- 表計算ソフト Excel を使用！
- 経済波及効果の算出に必要なデータが不明確でも、シミュレーション可能！
- 県ホームページから無料でダウンロードできます！
- 必要項目を入力すれば、経済波及効果の分析報告書を自動で表示！

使用方法 入力は2つ

- ①産業部門の選択 ②敷地面積（仮定値でOK）の入力

以上で埼玉県内での産業別規模別の経済波及効果をシミュレーションできます。

入力画面

①

②

A 産業部門

- 農林漁業
- 鉱業
- 製造業
- 建設
- 電気・ガス・水道
- 商業
- 金融・保険
- 不動産
- 運輸・郵便
- 情報通信
- 公務
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉業
- 宿泊業
- 飲食サービス業
- その他のサービス業

B 敷地面積

10,000 m²

1 土地造成費

216,000 千円

- 伐採・抜根費
- 地盤改良費

③

平坦地

傾斜地

- 3度超 5度以下
- 5度超 10度以下
- 10度超 15度以下
- 15度超 20度以下
- 20度超 25度以下
- 25度超 30度以下

2 建築費

328,390 千円

④

自動

手入力

延床面積

1,378.3 m²

m²

(敷地利利用率)

13.8 %

%

m²当たり単価

238,255 円/m²

3 設備投資額

626,375 千円

⑤

自動

手入力

626,375 千円

千円

4 生産額

450,837 千円

⑥

1 事業所当たり生産額

450,837 千円

1 事業所当たり従業員数

16.5 人

人

↑

※生産額は、規模に関係なく産業別に一律の数値となっているため、1事業所当たり従業員数を入力して調整してください。

※注意

本ツールで求められる経済波及効果は、立地条件に関係なく埼玉県のどの土地でも一律の結果となる参考値です。

経済波及効果の基礎データとして必要な土地造成費・建築費等は、現在公表されている公的統計データを組み合わせた平均値で計算したものです。

オプション

③土地造成 ④建築 ⑤設備投資 ⑥生産 ※に係るデータを入力すれば、より細かく分析

※⑥生産額については規模に関係なく産業別に一律の数値となっているため、従業員数の入力をお勧めします。

報告書

〇〇工場立地による経済波及効果

試算結果

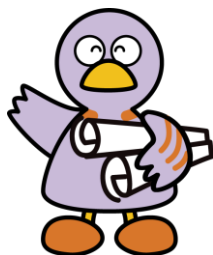
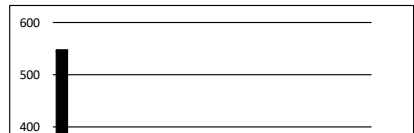
単位: 百万円、倍、人

項目	最終需要増加額	直接効果	第1次間接効果	第2次間接効果	総合効果	生産誘発倍率(対最終需要)	生産誘発倍率(対直接効果)	相付加価値誘発額	雇用誘発人数(うち直接効果)	
	①	②	③	④	⑤=②+③+④	⑥=⑤÷①	⑦=⑤÷②	⑧	⑨	
稼働前投資	土地造成	216	216	43	75	334	1.55	1.55	211	20.3 (13.2)
	建築	328	328	86	81	495	1.51	1.51	255	30.0 (20.0)
	設備投資	626	240	41	78	359	0.57	1.50	226	25.7 (18.8)
計	1,171	785	170	234	1,188	1.01	1.51	692	76.0 (52.0)	
稼働後	生産	451	451	105	85	640	1.42	1.42	272	26.3 (15.1)

稼働前投資による波及効果上位16部門

単位: 百万円

No	産業部門名	直接効果	第1次間接効果	第2次間接効果	総合効果
1	建設	544	1	0	545
2	教育・学習支援業	139	0	7	146
3	製造業	57	29	11	97
4	その他のサービス業	10	54	28	92



埼玉県のマスコット「コバタン」